



貢献事業者

障害者雇用

仙台市

令和5年度

# 取組事例集



仙台市



# 目次

はじめに .....	3
株式会社ダイワ技術サービス .....	4
株式会社デンコーダー .....	6
これまでの表彰事業者 .....	8
仙台市障害者就労支援センター 「はたらポート仙台」について .....	10
おわりに .....	11

## はじめに

仙台市では、障害のある方一人ひとりがその能力や個性を活かして生きがいや働きがいのある生活を送ることができる環境づくりを推進しています。

「障害者雇用貢献事業者表彰事業」は障害のある方の雇用促進に積極的に取り組まれている事業者の皆様を表彰し、その取り組みを紹介することで市民の皆様の障害に対する理解を深めていただくとともに、障害のある方の雇用の拡大・促進を図ることを目的として開催しております。

仙台市健康福祉局障害福祉部

# 株式会社ダイワ技術サービス

**設立** 昭和60年12月

**代表者** 代表取締役 小川 稔

**事業内容** 測量業、地質調査業等の建設関連業

**障害のある方の雇用状況**

身体障害者1名／精神障害者4名

## ●雇用のポイント

### 企業内で困っていること、が 雇用の第一歩

ダイワ技術サービスは、主に公共施設の長寿命化や災害復旧等の土木工事に必要な測量、地質調査や設計等を行う会社です。

平成29年度から障害のある方の雇用を取り組み始め、現在まで、4名の障害のある従業員の新規雇用を達成しています。雇用に当たっては、企業内で困っていることや人手が欲しい業務を洗い出すことから始め、「長距離運転が得意」、「力自慢」、「パソコン(CAD)に興味がある」等、分かりやすい採用目標を設定しました。

また、入社前には実習や面談を行い、会社の雰囲気慣れ、本人の働く意思を丁寧に確認して、業務と人材の適切なマッチングを図り、障害のある方の雇用を推進していきました。



三次元測量機器(MMS)

### 定着支援面談は企業の学びの場

ダイワ技術サービスでは、様々な障害特性や就労経験を持った従業員が働いておりませんが、各従業員の一人ひとりに合った安定した就労を続けられるよう、従業員本人・就労移行支援や就労定着支援事業所等の支援機関・業務指導担当・障害者雇用担当の4者での定着支援面談を定期的に行っております。

定着支援面談においては、本人の状態の確認や必要な配慮について話し合うとともに、ダイワ技術サービスでは、こうした面談が、企業にとっての重要な学びの機会であると捉えています。

普段の業務中ではなかなか聞けないような本人の感想、支援機関からの意見や両者のやりとりを通して、本人への気付きや、支援者の対応に触れ、障害への理解を徐々に深めていきました。

現在では、企業から支援機関に対しても積極的に連絡を行うようになり、4者が一つになって、企業全体で障害のある方の雇用を推進する土壌が醸成されています。



土質試験機器(自動突固め試験)

## ● 障害者雇用担当者の声 土質試験室指導員：宮崎さん



私共が業務で向き合う公共土木施設は道路・橋梁・河川海岸・漁港港湾・ダム等々の日常市民生活で使う重要な建設インフラです。

建設関連業はいわゆる「3K(きつい・汚い・危険)」という世間的なイメージもありますが、業務で関わる施設が、自分が知っている場所ということもあり、楽しさややりがいを感じるとても魅力的な職場だと思います。

現在、精神障害のある従業員は、それぞれ週20時間と週30時間の勤務に従事しています。定期的な通院の時間を確保しつつ、最初は週20時間から始めて時間増を目指すことや、時には、週30時間から週20時間に戻すこともある等、本人の状況を見て無理なく就労が続けられるよう調整を行っています。入社当時から段々と仕事に慣れて行くうちに、新たな仕事にも挑戦して活躍の幅が広がっています。今後も仕事やコミュニケーションを通して絶えず経過を見守って行きたいと思っています。

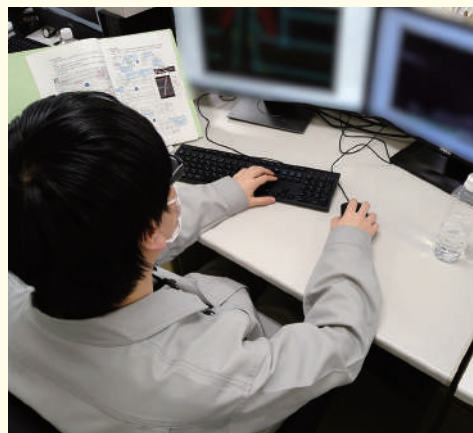
## ● 従業員の声 土質試験室試験員 (令和元年12月入社)

就労移行支援事業所で1年間訓練を受けました。その時に土質試験員(自動突固め試験担当)の募集があるけど、条件は土嚢15kgを持てる方と聞いたので未経験でしたが、体力には自信があったので応募しました。職場体験を令和元年9月～10月に3週間行い、同年12月から週20時間勤務を開始して、翌年4月から週30時間に増やして入社丸4年が経過しました。宮崎さんの指導で水浸膨張試験・一軸圧縮試験も覚えました。



## 技術第1部CADオペレーター (令和4年10月入社)

就労移行支援事業所での訓練時にCADオペレーターの募集を聞き、未経験でしたが他分野でのPC業務の経験があったので応募しました。令和4年8月に職場体験を1週間行い、10月から週20時間で勤務を開始し、翌年4月には週30時間に増やしました。菅原さんの指導の下、人工衛星を利用したMMS、UAVで三次元計測された点群データを生成するのが仕事です。出身地の近傍が計測データの時は気持ちがとても和みます。



# 株式会社デンコードー

**設立** 昭和40年8月

**代表者** 代表取締役社長 高橋 淳

**事業内容** 家庭電化製品並びに関連商品の販売および  
付帯工事・修理サービス

**障害のある方の雇用状況**

身体障害者47名／知的障害者39名／精神障害者65名

## ● 雇用のポイント

### 職場実習と面談を重ねた 丁寧なマッチング採用

株式会社デンコードーは、北海道・東北エリアにおいて107店舗の家電専門店「ケースデンキ」を運営しています。お客様がお買い物を楽しんでいただくためには、従業員がイキイキと働ける環境づくりが必要と考えています。そのため、各種規則や制度、教育体制の構築等により「働きやすさ」と「働きがい」を実感できる従業員第一の企業風土と、「真心感謝」の経営理念のもと、幅広い年代の従業員がコミュニケーションとチームワークを重視し、日々助け合って働いています。

障害のある従業員は約150名在籍しており、勤務時間等によりロング又はショートパートナー等の社員区分に分かれ、主に商品の入出荷と仕分け、品出しや清掃等に従事します。採用にあたっては、職場見学と事前面談を経た実習を必須としています。



実習においては、作業成果のみに着目せず、コミュニケーションやビジネスマナーの様子等、職業準備性を確認しながら、本人の就労意欲の確認と店舗責任者の適性判断を丁寧に重ね、ミスマッチ防止を図ります。

また、周囲からの理解や必要な配慮を得るにあたって、障害をオープンにして働くメリット・デメリットを整理し、本人の意思を尊重した雇用を行っています。

### 短時間からスタートして就労定着へ

無理なく働き続けるための配慮の一つとして、勤務日数や時間は雇用前に本人と相談し、週20時間未満の短時間雇用も積極的に行っています。入社後は、教育係スタッフからのマンツーマン教育を受けながら、日常業務や人間関係に徐々に慣れ、体調や時間等の自己管理を上達させていきます。こうした成長が働くことへの自信につながり、勤務時間が増えていくことも多いため、障害者雇用を柔軟に考え、長い目で育成することが大切なポイントです。

また、店舗責任者に対しては、障害特性や雇用の留意点等について採用マニュアルで共通認識を図るとともに、初めて雇用する職場には、本社の障害者職業生活相談員が訪問し、理解を促しています。

デンコードーは、多様な人材雇用による地域貢献を目標に、全ての店舗において障害のある従業員が就労定着し、活躍できることを目指し、今後も着実に雇用拡大していきます。



## ● 障害者雇用担当者の声(管理部採用教育担当)

弊社は経営理念に「真心感謝」を掲げ、事業内容を通じて全従業員への浸透と具現化を目指しています。社章である四つ葉のクローバーは経営理念の4つの感謝を表し、「全社員とその家族への感謝」を1番目に位置づけしています。お取引先様、お客様、株主様など事業に関わるすべての方々へ感謝を体現するためには従業員が健康で楽しく働いていることから始まると考えます。この経営理念のもとデンコードーで働く従業員への感謝とともに、従業員が長く働ける環境づくりが企業の社会的責任とする指針により障害者雇用を支える風土が醸成されています。

障害者雇用は「真心感謝」を実現する取り組みの1つとして、①すべての店舗に1名以上の雇用②雇用後の就労定着の2つを目標とします。誰もが平等

に職業を通じて社会へ参加できる「共生社会」を築く大切さ、そして職場の「協調性と生産性」の向上に結び付く重要性を全従業員に理解してもらい就労定着を推進しています。店舗責任者の障害者雇用経験不足や理解不足の理由によりスムーズに進まないケースもありますが、弊社は職場実習開始前に「採用マニュアル(実習内容から雇用契約までの手順記載)」と「障害特性ブック(障害特性による育成方法記載)」を使用して店舗責任者へ再認識を図り、初めて受け入れる従業員の理解度を上げて不安を取り除いています。障害者雇用は、従業員の理解と支援が不可欠で、いつでも相談しやすく、常に関わりを持って助け合う職場が就労定着につながります。今後も全従業員が「真心感謝」を具現化する働きやすい環境を維持していきます。

## ● 従業員の声

### 店舗倉庫業務担当 山本さん(令和4年4月入社)



私が入社したきっかけは、当時通っていた支援学校で行ったケースデンキの就業体験です。この体験ではトラックに積まれた商品の入荷作業と仕分け、商品の倉庫内移動や店頭での品出しなどを体験しました。入社後は、倉庫業務担当としてお客様が購入した商品を車に積み込む補助作業やリサイクル家電品の引取り作業なども実践し、実習では経験できなかった仕事もできるようになりました。

業務内容が増えていく度に失敗が増えて、時には自信を無くしかけることもありますが、お店の従業員の皆さん、特に同じ倉庫業務担当の皆さんのフォローで乗り越えられています。働くうえで私が

大切にしていることは、新しい業務にも臆せず自発的にスキルアップできるよう取り組むことです。もしそれで失敗しても、お店の皆さんが助けてくれるので、失敗をバネにして次の経験に活かす行動を考えることが大切です。

現在では障害者雇用の店舗教育リーダーとして、新しく入ってくるパートナー(従業員)に倉庫業務の内容を説明するなど教える立場になりました。私の目標は、今まで培った経験と知識を生かして自分自身を成長させることです。

最初は仕事を覚えることが精一杯で、気持ちが空振りして不安になることもあると思います。そんな時に考えることは「自分は何がしたいのか」です。自分の描いている「こうなっていたい／こうなりたい」のイメージに近づくために必要な物事を考えてから取り組むことで、新しいステージが開かれるようになると思います。

# これまでの表彰事業者

## 【平成21年度】

- 株式会社オートランドリータカノ
- 株式会社新陽ランドリー
- 株式会社包徳
- みやぎ生活協同組合

## 【平成22年度】

- 株式会社ジェー・シー・アイ
- 新日本リネン株式会社仙台支店
- ハンナンフーズ東北株式会社

## 【平成23年度】

- 株式会社高秀
- 仙台交通株式会社
- 仙台ターミナルビル株式会社
- 森徳とうふ店

## 【平成24年度】

- 株式会社クリーン&クリーン
- 株式会社フジ・スタイリング
- サンライズパッケージ株式会社

## 【平成25年度】

- 株式会社ビック・ママ
- 株式会社やまや
- Green-Room株式会社

## 【平成26年度】

- 株式会社コスモ・リネン・サプライ
- 株式会社万代
- 株式会社リヴァイヴ

## 【平成27年度】

- 医療法人泉整形外科病院
- 株式会社かんぼ生命保険  
仙台事務サービスセンター
- 株式会社清月記

## 【平成28年度】

- 株式会社ウジエスーパー
- 鈴木工業株式会社
- 生活協同組合あいコープみやぎ

## 【平成29年度】

- 株式会社あいあーる
- 社会福祉法人ありのまま舎
- 社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会
- ブイファッション仙台株式会社

## 【平成30年度】

- 株式会社アイエーオートボックス
- 株式会社仙台食品運輸
- 株式会社仙台三越
- パーソルチャレンジ株式会社  
受託サービス事業部仙台グループ



#### 【令和元年度】

- 社会福祉法人泉寿会
- 株式会社宮城総合給食センター
- 株式会社Wiz 仙台支社

#### 【令和2年度】

- 株式会社スタッフサービス・クラウドワーク  
エリア統括部 東北エリア推進課
- 株式会社ミクシィ・エンパワーメント 仙台事業部

#### 【令和3年度】

- 株式会社サンマリ
- 株式会社仙台銀行
- 株式会社つばめマネジメント
- 株式会社デジタルハーツプラス 仙台オフィス
- 東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社
- 楽天ソシオビジネス株式会社  
エリア事業部 仙台エリアチーム

#### 【令和4年度】

- 株式会社仙台にしむら
- プルデンシャル生命保険株式会社  
ドライデンカスタマーセンター

※掲載している事業所名は表彰当時のものです。

# 仙台市障害者就労支援センター 「はたらポート仙台」について

はたらポート仙台は、国や県の制度にはない障害のある方の就労に関する仙台市独自の相談支援機関として、障害のある方の就労に関する様々なご相談をお受けしております。

## 障害のある皆様

求職準備から就労継続まで、  
障害のある皆様の  
「働きたい」、「働き続けたい」  
を応援します。

## 企業の皆様

障害理解促進から職場定着まで、  
企業の皆様の  
「雇いたい」、「長く働いてほしい」  
を応援します。

## 就労支援事業所の皆様

支援バックアップから連携まで、  
就労支援事業所の皆様の  
「パワーアップ」、「ネットワーク」  
を応援します。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

<http://www.sendai-wcs.jp>

## 仙台市障害者就労支援センター「はたらポート仙台」

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目1-1  
(仙台市泉区役所東庁舎5F)

TEL: **022-772-5517** FAX: **022-772-5519**

E-mail: info@sendai-wcs.jp

## おわりに

本パンフレットは、仙台市内で障害のある方への支援を行う下記の就労継続支援事業所に作成いただきました。

本市では、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」(障害者優先調達推進法)に基づき、障害者就労支援施設等からの優先調達を推進しています。

本市における優先調達方針及び実績については、本市ホームページに掲載しております。

デザイン  
就労継続支援事業所なでしこ  
印刷  
社会福祉法人共生福祉会 萩の郷福祉工場



編集・発行

仙台市健康福祉局障害福祉部障害企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7-1

電話:022-214-8151

FAX:022-223-3573



仙台市障害理解促進キャラクター  
「ココロン」